

第56回日本神経眼科学会総会
ランチオンセミナー4

The鑑別

～黄斑×神経眼科～

2018年

12月15日^土

12:30-13:30

第2会場

3F 国際会議場

座長



中村 誠 先生 神戸大学大学院医学研究科 外科系講座 眼科学分野 教授

座長のことば

原因不明の視力低下や視野欠損に遭遇することがある。前眼部から眼底まで、どこを見ても異常が見当たらない。患者の訴えは本当だろうか？心因性ではないのか？つい、患者の訴えを疑いたくなる。しかし、そう決め付ける前に、今一度、何か見落としていないかを考え直すことが必要だ。とりわけ、黄斑疾患と視神経疾患は、普通に見ていてもなんら構造的異常がない場合がある。そうした際、どんな点に注目して検査を進めていくのか？本当に病気があると考える根拠は何なのか。そして、黄斑疾患と視神経疾患をどう鑑別していくのか？今回のセミナーではこうした悩ましい事例への取り組み方を一線で活躍している講師に解説して頂く。その名も「The 鑑別 ～黄斑×神経眼科～」。是非、お楽しみ下さい。

講演Ⅰ



**視力低下を来す
視神経疾患**

盛 崇太郎 先生

神戸大学大学院医学研究科
外科系講座 眼科学分野

講演Ⅱ



**眼底が正常な
網膜疾患；診断の極意**

國吉 一樹 先生

近畿大学医学部眼科学教室

◎第56回日本神経眼科学会総会参加には、参加登録が必要です。現在、事前参加登録(早期割引)実施中です。▶▶▶

共催：第56回日本神経眼科学会総会／アルコン ファーマ株式会社／ノバルティス ファーマ株式会社



座長

**中村 誠** 神戸大学大学院医学研究科 外科系講座 眼科学分野

略歴

1989年 神戸大学医学部 卒業
1995年 神戸大学医学部眼科 助手
1999年 ペンシルバニア州立大学医学部眼科・細胞分子生理学教室 博士研究員(2001年まで)
2005年 神戸大学医学部 講師
2013年 神戸大学大学院医学研究科外科系講座眼科学分野 教授
2018年 神戸大学医学部附属病院 副病院長
現在に至る

講演I

**盛 崇太郎** 神戸大学大学院医学研究科 外科系講座 眼科学分野**視力低下を来す視神経疾患**

視力低下を来す視神経疾患は様々なものがあるが、原因検索に難渋することも多い。視神経疾患は頻度が少ないことに加え、問診に始まり、対光反応から眼底検査、視野検査やOCT, MRIなど、適切な手がかりからヒントを得ないと、犯人(原因疾患)にたどり着かない事がある。数々の選択肢の中から然るべく検査を施行しないと迷宮入りする危険がある。そのような難問と言える種々の視神経疾患について、ヒントの見つけ方から犯人の推察の仕方、確証の挙げ方について、自験例を交えて紹介したい。

略歴

2013年 神戸大学医学部 卒業
2015年 地方独立行政法人加古川市民病院機構加古川西市民病院 眼科
2016年 神戸大学病院眼科
現在に至る

講演II

**國吉 一樹** 近畿大学医学部眼科学教室**眼底が正常な網膜疾患;診断の極意**

眼底が正常で視力低下や視野異常をきたす場合には、頻度や緊急性の点からまず神経眼科疾患を想定することは当然なことです。しかし視神経や中枢の画像検査所見が正常の時や、ステロイドを投与しても視機能が改善しない時には「眼底が正常な網膜疾患」を考えなければなりません。そしてできれば不必要なステロイド投与を避けるために、事前にそのような網膜疾患を鑑別したいものです。

キーになる検査はOCTとERGです。近年、格段の進歩を遂げたOCTでわかること、わからないこと。ちょっと敷居の高くなってしまったERG検査のコツ。

このランチョンセミナーではその「極意」を伝達したいと思います。

略歴

1988年 大阪市立大学医学部 卒業
1996年 スケペンス眼研究所
2000年 近畿大学医学部眼科 講師
現在に至る